

# 乙女高原が好き！1102号

今年も乙女高原で会いましょう スミレ・フィールドガイドを作ろう!

## スミレ観察会を開催。乙女の新種を発見!

乙女高原フィールドガイドの第3弾として「乙女高原のスミレ(仮称)」を来春発行しようと、プロジェクトリーダーの依田さんを中心に目下準備中です。依田さんの発案で、発行準備の一環としてスミレ観察会をしようということになりました。スミレの開花期に3回のスミレ観察会を行いました。

第1回 スミレ観察会 5月8日

遊歩道づくりの昼食後、いよいよ第1回目のスミレ観察会のはじまりです。講師は乙女高原案内人の依田さん。参加者は18人でした。依田さんはプリントを配布し、スミレについて簡単なレクチャー。そして出発しました。ヨモギ頭で「ほら、ここにヒナスミレ、こっちはアカネスミレ、ここにタチツボスミレ、・・・」と依田さん。次から次にスミレが見つかりました。やっぱり見る人を見ると見つかるもんだなあ、あらためて感心しました。

ここでの大発見はシロバナヒナスミレ(写真)。ヒナスミレは花びらの色が透明感のある白からピンクにグラデーションしていてもきれいなのですが、花全体がほとんど真っ白というヒナスミレがいくつか見つかりました。ヒナスミレの品種の一つだそうです。「乙女高原にはスミレは16種類と言っていたのに、もう今日、新しいのが見つかったって、どうしましょう」と依田さん。うれしそうに困っていました。



ここで観察会をいったん中断し、ロッジでお茶会をした後、車に分乗して焼山峠へ。ここでミヤマスミレとヒメイチゲの群落を観察し、そこで解散としました。ミヤマスミレもヒメイチゲもいっぱい咲いていて感激でした。ヒメイチゲなんて5センチにも満たない草丈なのに、精一杯花を咲かせている感じがとてもけなげで、しかも真っ白い清楚な花なんです。もうファンになりました。

【5月8日に見られたスミレ】(開花していたのは6種類)

- ・ヨモギ頭 ヒナスミレ、シロバナヒナスミレ、アカネスミレは満開。アケボノスミレ、タチツボスミレ咲き始め。ヒゴスミレは葉のみ。
- ・遊歩道森のコース エイザンスミレ葉のみ。
- ・焼山 ミヤマスミレ咲き始め。

第2回 スミレ観察会 5月21日

2回目となる乙女高原のスミレ観察会には7名の参加者がありました。講師の依田さんご夫妻、北杜市の生山さん、大月市の井上さん、三ツ峠ネットワークの山本さんと渡辺さん、そして植原。山本さんは乙女高原案内人でもあります。ロッジ前で打ち合わせをしている際、焼山峠付近で撮った写真を見ていただきました。というのも、今まで見たことのないスミレだったからです。シコクスミレ(写真)とのこと。やりました、乙女高原で18番目のスミレです。じつは、シカ柵調査でお世話になっている高槻先生からは「乙女高原にシコクスミレはありませんか?」と、今日のこ



とを予見するようなメールをいただいていたんですよ。

さて、今日も依田さんの簡単なレクチャーの後、ヨモギ頭に向かって出発しました。さっそくタチツボスミレとサクラスミレの花が見つかりました。エイザンスミレは葉ばかりが見つかって、なかなか花が見つかりませんでした。それでも3つだけ花を見つけました。もう咲き終わりのころでしょうか。

ヨモギ頭でじっくりスミレウォッチングです。ヒナスミレはもう咲き終わりです。アカネスミレやアケボノスミレがいっぱいです。アケボノの中にはほとんど色が真っ白というのもありました。シロバナアケボノスミレと言っていいものかどうか。

たくさんのスミレが見つかるのももちろんうれしいですが、ぼくが大きな関心を寄せているのは「生き物たちがどのようにつながりあいながら生きているか」という点です。今日はアカネスミレの花を食べていたいもむしを見つけました(写真)。家に帰って調べてみると、ウラギンヒョウモンという、夏の乙女高原でたくさん見ることのできる豹柄のチョウの幼虫らしいです。ヒョウモンチョウの仲間には、幼虫がスミレ類を食べるのがたくさんいます。乙女高原がスミレの宝庫であることから、乙女高原のスミレたちがヒョウモンチョウを養い、そのヒョウモンチョウたちが夏のたくさんのお花たちの花粉を運ぶお手伝いをしている・・・という「つながり方」をしているかもしれません。

ロッジに戻ってお昼を食べました。今日は標高1700メートルの乙女高原でもTシャツでちょうどいいくらい。日なたのベンチでは暑すぎるので、日陰で食べました。午後からは、車で少しずつ下りながらポイントポイントで降りて観察。咲き始めたクリンソウや咲き終わりのヒカゲツツジ、湿地ではサンリンソウ、ウラジロモミの薄暗い林の中ではコミヤマカタバミやミヤマスミレなどを見ました。焼山峠でまとめの話をさせていただき解散しました。



【5月21日に見られたスミレ】(開花していたのは10種類)

- ・ヨモギ頭 アカネスミレ、アケボノスミレ、シロバナアケボノスミレ、タチツボスミレは満開。ヒナスミレ、シロバナヒナスミレ、ヒゴスミレ咲き終わり。
- ・草原 サクラスミレ咲き始め。
- ・遊歩道森のコース エイザンスミレ咲き終わり。
- ・湿地 ツボスミレ
- ・焼山 ミヤマスミレ、タチツボスミレ満開。シコクスミレ満開。

### 第3回 スミレ観察会 6月5日

1週間違うと、以前咲いていたスミレの花はもう終わり、別のスミレが咲いている・・・ということがよくあります。そこで3回のスミレ観察会を企画していただきました。わざわざ小田原から来てくださる担当の依田さんはたいへんだったと思います。たいへんではありましたが、参加されたスミレ・ファンやスミレ・スペシャリストとのつながりもでき、また、乙女高原での新発見もありました。まさに一石二鳥の観察会だったと思います。企画者の依田さんから「大満足でした」との感想をいただき、本当によかったです。

今回の参加者は10名。中にはご家族で参加してくださった方もいました。小学生のお嬢さんがヤマケイのスミレ図鑑を持っていたので「おっ!」と思いました。このお嬢さん、いろんなものに興味を持って、観察してくれました。さて、簡単にはじめの会を済ませ、さっそくキンポウゲが咲き始めた草原の中を歩きました。真っ白いサクラスミレを見つけたことのある場所を丹念に探しましたが、白いサクラスミレは見つけることができませんでした。でも、サクラスミレはいっぱいでした。

道の端でツボスミレが咲いていました。今回、目の不自由な方の参加もあったのですが、案内人の宮川さんのガイドで腰をかがめて、スミレに触り、その感触を楽しんでいらっやいました。歩いている途中で「においがするねえ」と言われた時には、においになんかまったくもって無頓着になっていたの、ドキッとしました。自然観察するときに五感を最大限使うことはとても大切です。湿地の方まで足を伸ばしました。サンリンソウやシロバナノヘイチゴの花が可愛く咲いていました。タチツボスミレなんです、葉脈がやけに赤くて、葉脈の近くの葉も赤っぽいアカフタチツボスミレの葉をたくさん見ました。

コマルハナバチ女王が笹原を低空飛行していました。きっと巣にする場所を物色していたのだと思います。駐車場脇のヤマザクラの花にもコマルハナバチの女王が来て、蜜を吸っていました。蜜を吸っていましたが、花粉を集めている様子は見られませんでした。まだ巣作りの段階には至ってないと思いました。お嬢さん

が「この虫の巣、なんですか？」と尋ねてきたのは、ヤマボウシの葉の付け根に唾のような白い泡が付いたもの。これはアフキムシというセミやカメムシの仲間が作って、その中に潜んでいるものです。試しに泡をそっと指でなでて削っていくと、中から虫がでてきました。



もうすぐ観察会も終わり・・・という時になって、また、新しいスミレが山本さんによって発見されました。サクラスミレなんですが、葉脈が赤っぽいチシオスミレ(写真)です。乙女高原の仲間が増えてうれしいことにはうれしいのですが、「最終的に乙女のスミレは何種類？」という問いへの答えがなかなか確定できません。とにかく3回の観察会が天気に恵まれ、楽しくできたのが一番よかったと思います。

【6月5日に見られたスミレ】(開花していたのは5種類)

- |                         |                            |
|-------------------------|----------------------------|
| ・サクラスミレ どこでもいっぱい。       | ・ツボスミレ 道端や湿地に多かった。         |
| ・エゾノタチツボスミレ             | ・タチツボスミレ もう咲き終わりに近い。       |
| ・アカフタチツボスミレ 花はもう終わっていた。 | ・チシオスミレ 葉脈が赤っぽいサクラスミレ。新発見。 |

スミレ観察会に参加された生山鈴子さんに原稿を依頼したところ、快く寄稿していただきました。ありがとうございました。

### 乙女高原のスミレ観察会に参加して 生山鈴子

やるせない気分が続いた時があり、気晴らしに何処かへ行こうと、思い浮かんだのが乙女高原。広々とした草原、ヨモギの頭から見る雄大な富士山、プナじいさんまで散策すると、気持ち清々とした。グリーンロッジの前には、乙女高原ファンクラブの資料。帰宅後、早速メールマガジンの配信を申し込む。以来、送信して下さるとも充実したメールマガジン。前々より機会があればと思っていた、スミレ観察会の案内。

山の遅い春、木々の芽吹きが始まる頃だろうし、スミレの知識は増え、自然の中に身を置きリフレッシュ。そして帰り道には一人暮らしの母を訪問すれば、母も喜びみんなハッピー～。一石三鳥の一日となりそうだ。

さて、スミレといっても、普通の？スミレと葉がギザギザのエイザンスミレの区別位しかできないレベルの私。光射す森のコースから観察だ。タチツボスミレ、サクラスミレ、アカネスミレ、アケボノスミレ、白い花が咲くというヒゴスミレの葉など確認。次々に教えていただきメモするが、種類が多くてチンプンカンプン、奥深い花と知る。今日は、花が大きくスミレの女王様とも呼ばれるサクラスミレ、よく見かけるタチツボスミレをマスターして満足。

アウトドアランチ、何を食べても美味しい。午後は湿地帯へ移動、クリンソウ、サンリンソウ、先に進む遊歩道は薄紫のタチツボスミレロード。林の遊歩道にはコミヤマカタバミの群生、焼山ではスミレ色のじゅうたんがお出迎え。ヒメイチゲも風にゆれている。乙女にすっかり魅せられてしまった私。あ～思い切って参加して良かった。

ところで、40数年前の事で記憶は曖昧だが、小学校のスキー教室があり、ここ乙女高原まですべりに来た。スキー板、ストックは竹で父親の手作り。移動といえばダンプの荷台にみんなで乗っかり(現在では考えられない?)かぶっていた帽子が飛んでしまい、拾ってもらった場面は鮮明だ。又、高校の乙女寮でのキャンプファイヤー、夏には同級生と手塚小屋に泊まった事などと、年を重ねてきたせいだろうか、時折り懐かしく思い出す。

乙女高原ファンクラブの活発な活動により美しい乙女高原の自然が護られていることは、とても尊く素晴らしい。その恩恵を受け、ふるさとの乙女高原に癒され、そして励まされていることに、私は感謝している。

### イオン「幸せの黄色いレシートキャンペーン」より寄付金をいただきました

イオン石和店より標記の寄付金として12,900円分のイオンギフトカードをいただき、さっそく双眼鏡を購入しました。また、マックスバリュ(イオンのスーパーマーケット部門)石和店より同様にギフトカード2,000円をいただき、CD-R、DVD-Rなどパソコンの消耗品を購入しました。このキャンペーンは、毎月11日にレシートを黄色くし、お客さんにはそれを店内にある応援したい団体のポストに投函してもらい、投函されたレシートの合計金額の1%をイオンからその団体に寄付しようというものです。

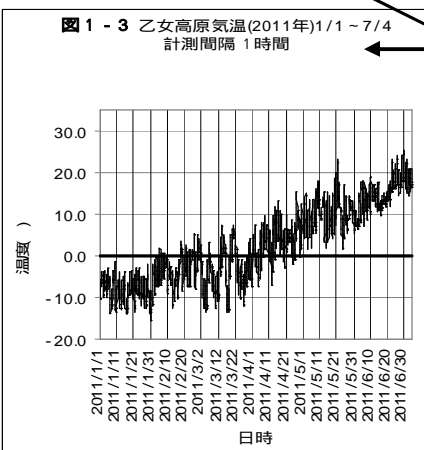
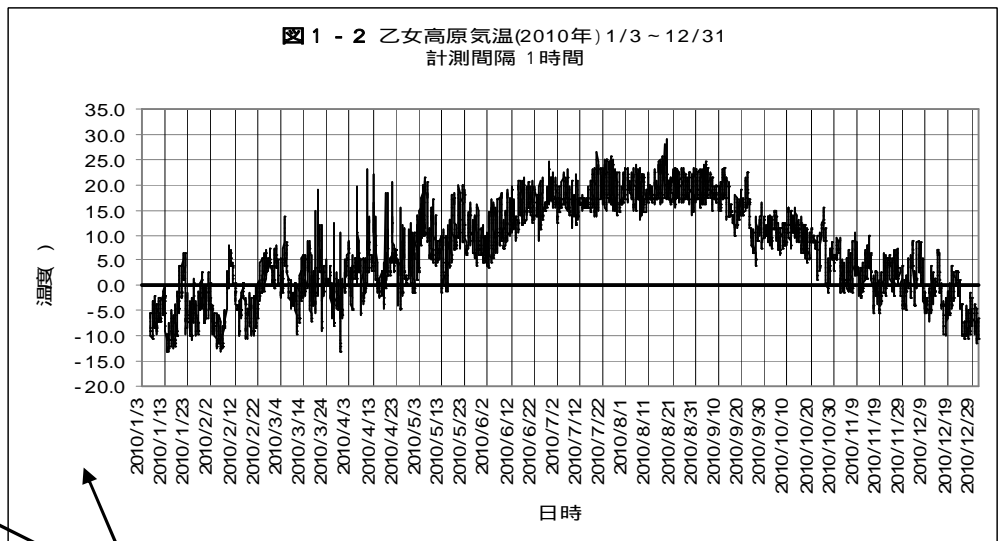
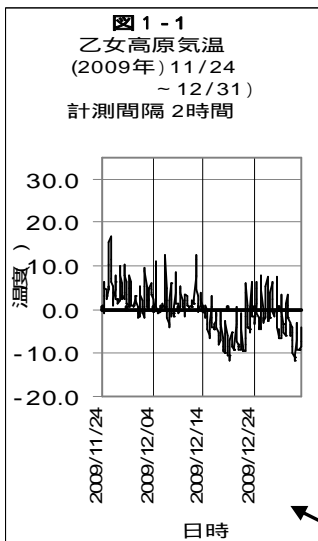
# グラフ(気温データ)で見る乙女高原の環境

平成 23 年 7 月 5 日 乙女高原ファンクラブ 原 澄

乙女高原の年間の気温状況、及び地下(小動物や草の根が影響する比較的浅い地層-5cm ~ -30cm)の温度環境を知りたくて、平成 20(2008)年頃より現地に出掛けた折に棒状温度計で測定していました。その後、世話人会で「乙女高原の温度計測プロジェクト」が承認され、データログ(データ自動記録素子-付図1参照)を入手しました。平成 21(2009)年 11 月 23 日の乙女高原草刈のイベント時に地上 1 個、地下 2 個を設置し、現在 1 年 6 ヶ月ほど経過しました。データ回収には地元の植原彰代表世話人をお願いし、雨宮浦助さんには手製の百葉箱を製作していただきました。今回手元に揃ったデータをグラフにしましたのでご報告します。この計測は今後も続けたいと考えています。

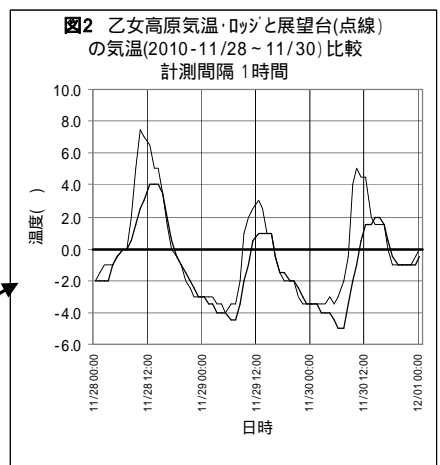
添付データから皆さんも乙女高原の環境(気温や地下の温度より)を推察してみてください。

1. 計測期間 平成 21(2009)年 11 月 23 日 ~ 23(2011)年 7 月 4 日
2. 計測場所 4 ヶ所
  - (1) 乙女高原グリーンロッジ建物壁側 地上 1.5m 高(簡易百葉箱)
  - (2) 草原入口看板裏 地中 -5cm -30cm
  - (3) 富士山展望台(ヨモギ頭) 地上 1.5m 高(簡易百葉箱)平成 22(2010)年 11 月新設
3. 添付グラフ



**図 1** 乙女高原の気温  
注目点：日夜の温度変化が冬季から夏季の変動にご注目してください。平成 23 年春は乙女高原の花々の開花が遅いように感じたがデータに現れているか？

**図 2** グリーンロッジと富士山展望台(ヨモギ頭)の気温比較  
注目点：設置条件が異なり単純に比較できませんが、展望台は日射の良い場所ですね。



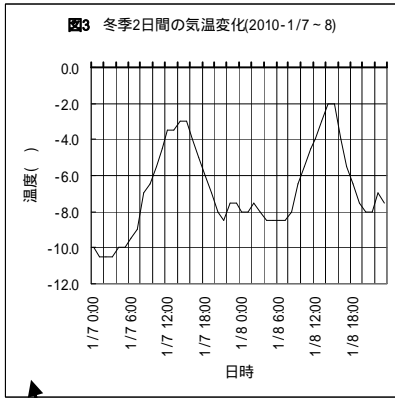


図 3 冬季の気温変化(2日間)  
 注目点: 1月7日~8日は13:00ころも氷点下の気温です。

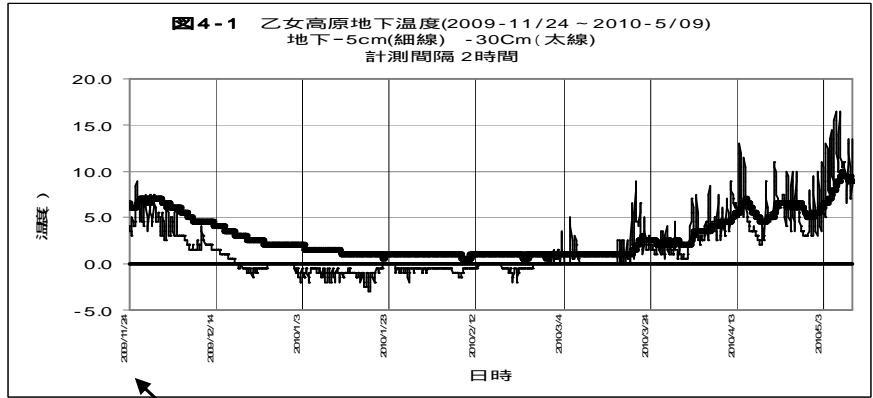


図 4 乙女高原の地下の温度  
 注目点: 地下30cm(太線)は日中の高低さに余り影響されず、真冬でも氷点下以下に下らない。地下5cm(細線)は大気に影響され夏季は30cmより高く、冬季は低い位置で高低のカーブを描いている。

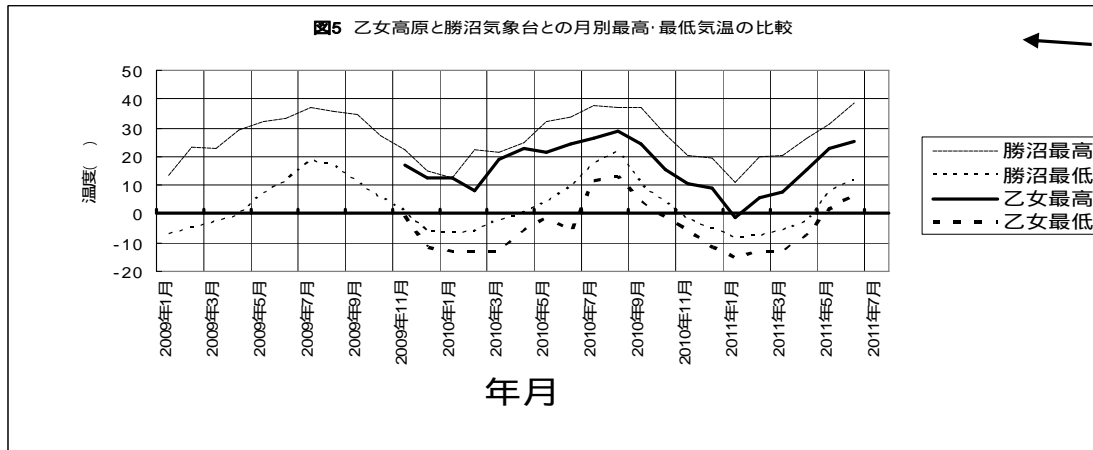
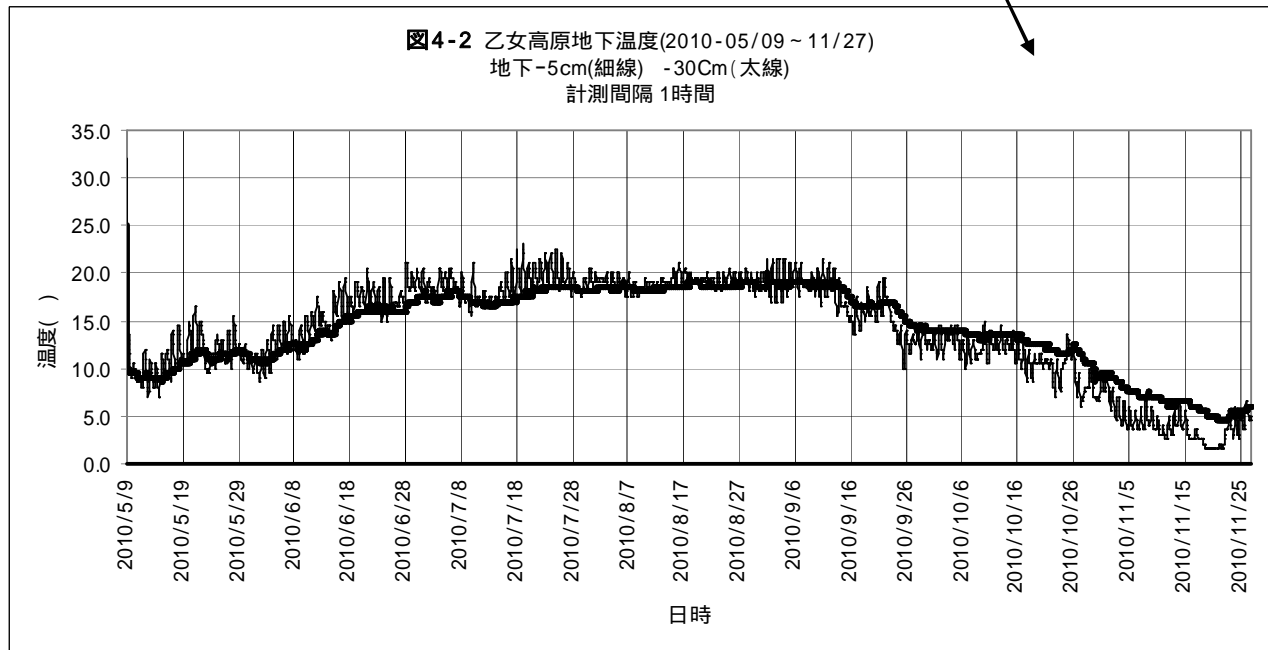
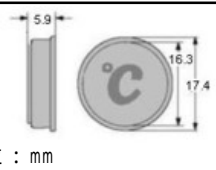


図 5 甲府气象台(勝沼)と乙女高原の月別最高・最低気温の比較  
 注目点: 測定条件が異なり単純比較は出来ませんが乙女1700m,勝沼400mの高度差の気温差に注目

ご参考 付図 - 1 データロガ(超小型温度データロガ「サーモクロンG」)  
 データロガの仕様概要(パソコンにより計測条件の設定およびデータの回収を行う)  
 ・測定可能温度範囲: -40 ~ +85 ・温度精度: ±1  
 ・製品寿命(目安): 5年以下または延べ計測数が100万データまで  
 ・温度計測間隔: 1分~255分まで(設定可)



単位: mm

## 危険な枯れ木を富士見丘のベンチに



すがすがしい空気、青空のもとで遊歩道づくりが行われました。林道を登ってくると、里はもう新緑なのに乙女はまだまだ芽吹きが始まっていません。なんか春が来るのを追い越してしまった感じがしました。

いつものように、スタッフの打ち合わせ後、芳賀さんを中心に受付開始。そして、受付の終わった方からロッジの庭に仮設した杭を使って実践的にロープの結び方を練習していただきました。70名の参加者がありました。山梨(市)ロータリークラブさんや(株)田丸グリーン基金さんからは毎年たくさんの方が参加してくださいませ。とても助かります。

はじめの会終了後、班ごとの打ち合わせをし、班ごとに坂田

さん、内藤さん、松林さんをはじめスタッフの指示にしたがって出発しました。さすがに12回目ともなると慣れた方が多くて、早いですよ、11時には終わってしまいました。参加記念のポストカードをお配りし、おわりの会をして終了しました。天気がよかったせいか、けがもなくできました。救護係の三枝さんの出番がないのが一番です。

去年はシカ柵設置という大きなトピックがありました。今年トピックと言えば、ヨモギ頭(富士山がよく見えるところ)からグレンデってっぺんに向かう途中にあるウラジロモミの大きな枯れ木を倒した。かなり古くて、いつ倒れてもおかしくない状態で、危険でもありました。新しく乙女高原ファンクラブ代表世話人に就任して下さった宮原さんが安全に伐って下さいました。伐った幹の一部を輪切りにしてヨモギ頭にベンチとテーブルとして置いてあります。行く機会がありましたら、ご活用ください。



### 乙女高原ファンの知られざる貢献

## 乙女高原グリーンロッジの草刈りを自主的に

「草刈り」「遊歩道づくり」という毎回の乙女高原の保全活動に参加され、「ロープの師匠」と呼ばれている武井さんが「マルハナバチ調べ隊」の日にふらっと来られ、軽トラの荷台から草刈り機を降ろして、ロッジ周辺の草刈りを始められました。もちろん、誰に頼まれたわけではありません。まったく自主的にです。「ここが草ぼうぼうだと、来た人が困るじゃん」昨年も武井さんはロッジ庭の草刈りをしてくださったんですよ。頭が下がります。

このように、人知らず乙女高原のために汗を流して下さる方が他にもいるんじゃないかと思えます。見かけたら、教えてください。【写真 鈴木としえさん】



# 今年も乙女高原で会いましょう 9年目のマルハナバチ調べ隊



## コマルハナバチがレンゲツツジに

マルハナバチ調べ隊は今年でなんと9年目になります。その第1回目を6月26日に行いました。2組の父子を含め、12人の参加者がありました。乙女高原はレンゲツツジがまだまだきれいで、それにアヤメも加わっていました。キンポウゲやオオヤマフスマも満開です。受付しようと思ったら、ミヤママルハナバチが来て、ぼくの手に止まったので、透明プラスチック容器に入れて、来たみんなに見てもらいました。

さて、調べ隊では、まずはロッジ前のベンチでマルハナバチの紙芝居を見てもらいました。マルハナバチの紹介(手むくじゃらで、寒冷地仕様のハチ。花に完全に依存している虫)、乙女高原のマルハナバチの種類、マルハナバチの1年間といった内容です。それから、みんなで草原内の遊歩道をゆっくり一回り歩きながらマルハナバチを探しました。ラインセンサス調査です。見つけられたマルハナバチは、レンゲツツジで吸蜜中の働きバチ2頭、同じくレンゲツツジで花粉ばかりを集めている働きバチ3頭、レンゲツツジで花粉と蜜と両方集めている働きバチ1頭の計6頭。それから、ちょうどレンゲツツジを飛び立つ瞬間のミヤママルハナバチも見ることができました。あの大きさからして女王バチだと思います。

途中、イタドリの葉が二つ折りにされたものがたくさん見つかりました。注意深く探してみたらヒゲナガオトシブミの成虫が見つかりました。葉っぱを巻いて、中に卵を産み付ける虫です。ヒゲナガオトシブミは葉を1枚ほどまるごと使いますが、葉のほんの一部分だけ切り取って巻く、小さな小さなルリオトシブミもいました。

午後からは待ち伏せ調査を予定していましたが、午前中に見つめられたマルハナバチがあまりにも少なかったので、予定変更し、ブナ爺さんまでの自然観察トレッキングを行いました。途中、ダケカンバの葉を巻いたロールキャベツのようなものがたくさん落ちていました。これも別の種類のオトシブミの仕業だと思います。今日はマルハナバチ調べ隊ではなくオトシブミ・デーでした。【写真 鈴木としえさん】



大きな花粉団子をつけたコマルハナバチ



葉を巻き終えホッとしているヒゲナガオトシブミ



### 今後のマルハナバチ調べ隊の予定

日時 第2回 8月7日(日) 第3回 9月11日(日) 雨天中止 午前10時～午後2時半まで  
集合 乙女高原グリーンロッジ  
持ち物 弁当, 水筒, 筆記用具, 時計(腕時計や携帯電話の時計で十分です)  
参加費 無料。 行事災害保険にはファンクラブで加入します。  
内容 午前中は調査の説明とラインセンサス調査。午後はまちぶせ調査。  
問い合わせ・申し込み先 乙女高原ファンクラブ事務局

## 乙女高原の自然を守るために シカ柵内外で本当に違いがあるの？

# シカ柵内外の植生調査を開始。ご協力を！

6月19日、天気は曇でしたが、レンゲツツジはほぼ満開で、美しい景観を楽しむことができました。この日の朝早く、ぼくは、テンの糞サンプリングのために焼山あたりを歩いていました。足元にはギンリョウソウやマイヅルソウ、木の花としてサラサドウダンやベニバナツクバネウツギが咲いていました。調査が一件落ち着いたら、乙女高原の草原に向かい、高槻先生たちと合流しました。

今年2月の乙女高原フォーラムでシカについてのご講演をいただいた麻布大学野生動物学研究室の高槻成紀先生の指導のもと、研究室の学生さんが乙女高原のシカ柵内外の植生調査をし、シカ食害の実態を検証することになりました。

高槻先生らは5月にも乙女高原においでになり、下見したのですが、まだ植物たちの成長が十分でなく、調査は次回からということになりました。ですから、今回が実質的な調査の初日です。

まず、柵の中に入り、あらかじめ高槻先生がお決めになった10種類の植物について、1種類につき10本ずつ探し、番号ふだを付け、草高を測定し、記録しました(草高は地面からの高さ、草丈は根元から茎の先端までの長さ。草を伸ばさないで自然の状態の高さを測ったのが草高です)。10本ずつ10種類ですから全部で100本になります。歩いていると、すぐに道ができ、その植物をずいぶん踏みつけてしまいました。踏みつけるのはそこだけにして、ほかの場所ではできるだけ踏まないようにしました。次に、シカ柵の外でも同じ10種類の植物について、1種類につき10本ずつ番号ふだを付け、草高を測りました。選んだ植物はススキ、クガイソウ、ワレモコウ、カラマツソウなどです。この時点ですでにシカ柵の中と外とで草高がかなり違っている植物がありました。

今後、番号ふだをつけた200本の草高を定期的に測定し、記録しなければなりません。基本的には学生さんが行う調査ですが、これをお読みになっている方の中に、調査協力していただける方がいるようでしたら、ぜひお願いします。200本の草高を測って記録するというのは単純作業ですが、ひとりですら非常に時間のかかる作業です。人数が多いとかなり時間短縮できると思います。調査結果がまとめれば、シカ柵の有効性が証明できるでしょう。乙女高原の自然を守るために、ぜひ、ご協力ください。



シカ柵内で草高を計る高槻研究室の高橋さん(右)とそれを記録する加古さん(左)

## 田丸グリーン基金さんより 今年も活動協力費をいただく

遊歩道づくりの開会行事のあと少し時間をとり、田丸グリーン基金からの活動協力費贈呈式を行いました。田丸はリサイクルを手がけるだけでなく、循環型社会を提案する環境意識の高い会社で、基金は社員の給料等で運営されているそうです。活動協力費をいただくのはこれで8回(年)目になり、総額は100万円を越えます。そればかりでなく、毎年、春の遊歩道づくりや秋の草刈りボランティアには、たくさんの社員の皆さんが参加して下さいます。ありがとうございます。





今年も乙女高原で会いましょう 暑い夏も涼しい乙女高原で



## 乙女高原で自然観察さんまいな一日を

### 8月7日(日) マルハナバチ調べ隊(今年度第2回目)

**集合** 午前10時 グリーンロッジ前。 **終了** 午後2時半。 雨天中止。  
**参加対象** 小学校4年生以上(それより小さなお子さんも保護者同伴なら参加可です)  
**定員** 20人。 **参加費** 無料(行事保険には主催者で加入します)  
参加者全員に『乙女高原フィールドガイド マルハナバチ・ウォッチング』をきれなくプレゼント。  
**持ち物** 筆記用具, べんとう, 雨具 (ほかにルーペなどかんさつ用具があれば)

### 8月21日(日) 乙女高原を歩こう(自然かんさつ会)

乙女高原をゆっくり歩きながら, この時期ならではの乙女高原の自然をかんさつします。

**集合** 午前10時 グリーンロッジ前。 **終了** 12時。 少雨決行。  
**参加対象** どなたでも。 **定員** 30人。 **参加費** 無料(行事保険には主催者で加入します)  
参加者全員に『乙女高原フィールドガイド 乙女高原のお花たち』をきれなくプレゼント。

午後からの杭づくりにも参加する方はべんとうを忘れずにお持ちください。

### 8月21日(日) 杭をつくろう(木工作业)

乙女高原の遊歩道で使う杭を, 間伐材を活用して手作りします。原則として案内人の活動ですが, ファンクラブ会員や興味のある方の参加も可能です。実際に自分の手で何かを作るのって, 楽しいですよ。

**集合** 午後1時 グリーンロッジ前。 **終了** 午後4時(予定)。 少雨決行。  
**参加費** 無料(行事保険には主催者で加入します)  
**持ち物** 作業手袋(軍手など), のこぎり, なた, …などの大工道具(無くてもオッケーです)。

### 日本山岳遺産基金より助成金をいただきました

山と溪谷社が創業80周年を記念して設立した日本山岳遺産基金により乙女高原が2010年11月の第1回認定式で他の3地域とともに日本山岳遺産に認定されたことはすでにニュースレターでも報告しました(1004号 2011.2.12)。そして, 保全活動に使うようにと11万円の助成金をいただきました。大切にに使わせていただきます。



### あいおいニッセイ同和損保より寄付金をいただきました

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社よりweb約款契約者数に応じた寄付金として23,325円をいただきました(web約款の申込契約1件につき5円ずつ)。この寄付金は乙女高原の自然を守るために大切にに使わせていただきます。

# 乙女高原ファンクラブの事務局だよ

今年も保険に加入しました。一つはマルハナバチ調べ隊、乙女高原を歩こうなど行事の参加者に掛ける行事保険、もう一つは世話人と乙女高原案内人一人一人に掛けるボランティア保険です。あつてはならないことですが、ファンクラブの行事に参加する際に事故等に巻き込まれた場合は至急事務局までご連絡ください。

塩山高校の総合学習や牧丘第三小学校の自然教室など、今年も学校の環境教育に協力しています。乙女高原の自然を直接守ることはもちろん大切なことですが、それだけでなく、特に次の世代を担う世代に乙女高原の自然を守る心を育てることも、乙女高原の自然を未来に向けて維持していくために、同じように重要です。

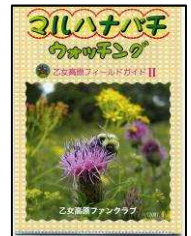
乙女高原の自然を守るためには、まずもって、その自然をよく知らなければなりません。つまり調査活動がとても大切になります。今号で紹介したスマレの調査、シカ柵内外の植生調査、マルハナバチ調べ隊はもちろん、テンの糞のサンプリング調査、昆虫相調査にも取り組んでいます。あなたも一緒に調査しませんか？



## 乙女高原ファンクラブの刊行物

乙女高原インタープリテーションのテキスト『乙女高原案内人 誕生と成長の記録』(A4判186ページ)乙女高原案内人養成講座の中身と、その後の案内人の活動の様子を一冊の本にしました。希望者には実費でお分けします。1冊1000円、送料は一冊につき80円。欲しい方は郵便振込で一冊につき1080円分を送金してください。

マルハナバチの観察と調査のおともに『マルハナバチ ウォッチング』(A3判両面カラー)マルハナバチの生態、ファンクラブで行っている調査、乙女高原のマルハナバチの見分け方をコンパクトにまとめました。欲しい方は事務局までご連絡ください。



春から夏にかけて咲く草花のガイド『乙女高原のお花たち』(A3判両面カラー)乙女高原フィールドガイドの第1号。春から秋にかけて咲く47種類の草花を写真つきでコンパクトに紹介。草丈の表示や草花を一言で表したコメントが「分かりやすい」と評判です。今年リニューアルしました。欲しい方は事務局までご連絡ください。

## 乙女高原ファンクラブの普通会员になりませんか？

乙女高原ファンクラブの会員には普通会员とサポーター会員の2種類があります。会報(ニュースレター)は年4回発行予定です。この号は全会員に送っていますが、あとの3号は普通会员にしか送りません。乙女高原での活動を多くの方に知ってもらいたいので、できるだけ普通会员での入会をお勧めください。また、現時点でサポーター会員の方も普通会员への移行をお勧めします。会員が増えることで、乙女高原を守るファンクラブの発言力も強くなります。

### 乙女高原ファンクラブに入会するには・・・

- ・「入会します 氏名・郵便番号・住所・電話番号」と、入会のご意志を事務局まで届けてくだされば、いつでも、だれでも会員になれます。ファックス、メール、手紙が確実です。
- ・入会金も年会費もありません。
- ・普通会员には年4回、サポーター会員には年1回、ニュースレターが届きます。
- ・普通会员には総会出席の義務がありますが(委任状可)、サポーター会員にはありません。
- ・そして・・・、乙女高原を守る力が1人分、大きくなります。

## 乙女高原ファンクラブへの連絡先

【事務局】植原 彰(方) 〒404-0013 山梨県山梨市牧丘町窪平 1110-3  
TEL/FAX 0553-35-3682 電子メール otomefc@fruits.jp  
会報への原稿や写真等の投稿もこちらにお送りください。  
WEB <http://fruits.jp/~otomefc/>

郵便振込 (番号) 00220-8-71093 (加入者名) 乙女高原ファンクラブ